

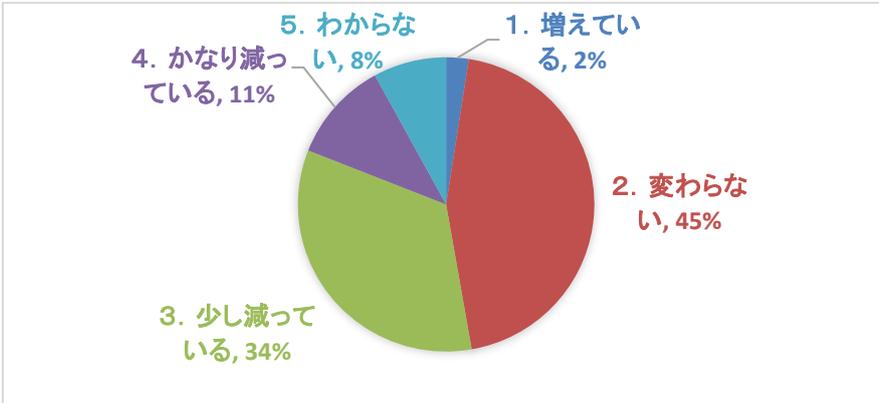
# 集団回収アンケート結果

送付団体数 284 回答数 166 回収率 58.45%

実施期間 令和7年6月26日から令和7年9月2日まで

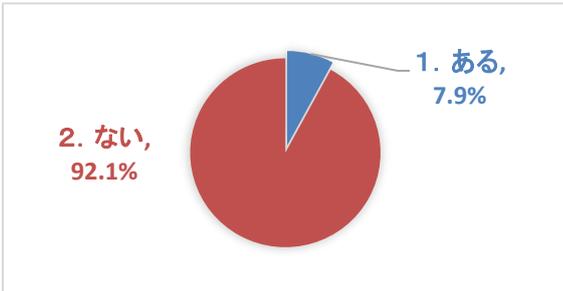
Q 1. 貴団体の参加人数はどのように変化していますか。

回答	1. 増えている	2. 変わらない	3. 少し減っている	4. かなり減っている	5. わからない
回答数(合計)	4	73	55	18	13



Q 2. 今後、回収方法を変更する考えはありますか。

回答	1. ある	2. ない
回答数	13	151



Q 3. 集団回収事業を続けられた中で、回収量はどのように変化していますか。

回答	1. かなり減っている	2. 少し減っている	3. 変わらない	4. 増えている	5. わからない
回答数	30	66	42	9	16

Q 4. 減っている品目は何ですか。(複数回答可)

回答	1. 新聞	2. 雑がみ	3. 段ボール	4. 紙パック	5. 布類	6. アルミ缶	7. びん	8. わからない
回答数	74	31	28	17	19	24	12	11

Q 5. 回収量を増やしていくため、市の支援として何が必要ですか。(複数回答可)

回答	1. 回収量に応じた報償金単価の増額	2. 集団回収参加を呼びかける広報、PR	3. 回覧等で使えるパンフレット作成、配布	4. 特にない	5. その他
回答数	79	55	39	16	13

# 集団回収アンケート結果

## その他

- ・雑がみの報償金を上げてもらいたい。
- ・今は1kg全て6円だが差があってよい
- ・啓発の実施、ごみ問題3Rについて
- ・担当者の負担軽減

## Q6. 苦勞していること、困っていることがあれば教えてください。(複数回答可)

回答	1. 高齢化や人員減少などによる人手不足	2. 協力しない人、無関心な人が多い	3. 担当者の負担が大きい	4. 雨天時の対応(場所の確保や決行の判断、周知など)	5. 特にない	6. その他
回答数	44	59	57	40	30	26

## その他

- ・一時的に置いておく場所の確保。虫の発生など。
- ・古新聞や段ボール等分別して置ける場所があれば良いが、狭くて道路にはみ出てしまう。
- ・宅配の普及により段ボールの増加、さらに大型化してきて、回収場所の工夫が必要になってきている。
- ・回収後に出す方がいる。倉庫に一時保管しているが見回りが大変。

## Q7. 集団回収活性化のために工夫している点、よい方法がありましたらご記入ください。その他ご意見等ございましたらご記入ください。

- ・ラジオ体操参加者に月1回空き缶の回収協力をいただいている。
- ・毎週第3土曜日 AM8時～9時役1時間実施・会員の方から軽自動車を提供していただき9台～10台の車で実施・自治会役員の方評議員の方ボランティア等約40～45人程度方また育成会の方に依頼。(やや減少ぎみ)
- ・自治会が集団回収事業を行っています。6月と10月は子供会、育成会が中心で実施。育成会の活動資金、子供達の地域社会に関する意識を高め、社会勉強のため活動・自治会の回収代金は殆ど募金に寄付しています
- ・年4回実施している資源回収をエリア別に分け範囲を区切って、担当回数を年2回でわりふれるようにしている。
- ・市のごみ集積所に集団回収日の掲示を行い周知をはかっている。
- ・申請書や手続きなど、オンライン上で出来たら幸いです。
- ・回収日の年間予定表を作成して配布。毎月回収する第3火曜日の日付の配布物を回覧して知らせる。
- ・回収日の前月には回覧で回収日を通知している。
- ・年間スケジュールのパンフレットを作成し、町内全戸回覧しています。
- ・集団回収前日に軽トラで(マイク使用)明日のアナウンスをしています。
- ・毎月、回収日の2、3日前に連絡アプリでお知らせを配信。

## 集団回収アンケート結果

- ・回収日に自治会役員が巡回に盗難去れないように注意しています。
- ・自治会の収入に貢献している事が自治会員に浸透して来ている。(自治会便り等)
- ・子供の参加率をあげるため参加賞等検討している。
- ・小学生、中学生も参加しての集団回収の実施 家族も含めたりサイクル意識を高める一助となっている。
- ・特にごみ分別の徹底を呼び掛けている。
- ・段ボールの出し方についてマンション内で周知していただいた。(掲示物にて) 1) 箱のまま出さない 2) 他の紙と一緒に出さない 3) 複数枚有るときは、紐でくくる又はガムテープでまとめて出す。
- ・回収量等については毎月その結果回覧により報告。事業に対する協力依頼をお願いしている。
- ・資源ごみ回収は「特別な取り組み」をしています。集会所の庭に「資源ごみ用の大きな倉庫」を2つ設置して有ります。1つは「新聞紙、雑誌、紙パック、段ボール用」1つは「布類、アルミ缶」常に利用出来る用に「家に保管する事なく」倉庫に入れることが出来ますので年間での回収量が多く「特別」に業者の回収日に合わせて出すこともなく。回収日は高齢者で「資源ごみ回収倉庫」まで持っていかれない世帯の回収だけです。「環境推進員」の負担も少なく「業者」も回収し易いので好評です。
- ・当日の朝にアナウンスに回っています。
- ・資源回収をお手伝いしてくれた子供に簡単なお菓子をあげる。
- ・育成会の活動費のために必要であることの説明。報償金について地域の方に報告し、協力していただけたことで資源回収が地域の役に立っていることをフィードバックする。
- ・参加者の高齢化で持ち込むのが負担になっているので収集ステーションを増やして出しやすいようにする。
- ・PTAより保護者様にお手紙でアルミ缶回収のお知らせを配布しております。また、自治会の回覧板にアルミ缶回収にご協力いただけるようお知らせを入れさせていただいてます。
- ・集団回収の周知、回収報告、報奨金報告は文書や掲示を行なっているが個々の意識を変えることは難しい。
- ・まだまだ家庭ごみ収集に分別ごみを出す人が多く、住民の集団回収に対する意識が低い様に感じています。
- ・ポスター、自治会回覧をしているがなかなか理解されない。最近自治会のLINEで資源回収がながれるようになった。そのため少し増え始めた。
- ・オープンチャットで周知する。
- ・資源回収の報償金が自治会の運営資金になっていることをPRするようにしている。